

会議録

会議の名称	平成27年度第1回西東京市子ども子育て審議会
開催日時	平成27年4月16日（木曜日）午前9時15分から11時15分まで
開催場所	西東京市役所 田無庁舎5階 503会議室
出席者	委員：森田会長、網干委員、加藤委員、小関委員、住田委員、武田委員、日高委員、丸木委員、三浦委員、吉田委員 事務局：子育て支援部長 金谷、子育て支援課長 中尾根、保育課長 保谷、児童青少年課長 齋藤、子ども家庭支援センター長 日下部、保育課主幹 武田、子育て支援課調整係 阿久津、倉田、田中、保育課保育係 増田、本庄、児童青少年課児童青少年係 飯島、子ども家庭支援センター相談係 八矢 欠席者：田口委員、中村委員、西澤委員、古川副会長、横山委員
議題	1 委嘱式 2 報告 （1）西東京市子育て・子育てワイワイプランについて （2）利用者負担について （3）利用定員について 3 審議 ・利用者負担額及び育成料の見直し並びに保育所入所選考基準の見直しについて 4 その他
会議資料の名称	資料（席上配布） 資料1 西東京市子ども子育て審議会委員名簿 資料2 「西東京市子ども子育て審議会」事務局職員名簿 資料3 1号認定における第2子の利用者負担額について 資料4 新制度による施設の利用定員（追加資料） 資料5 平成27年度西東京市子ども子育て審議会議題とスケジュール（案） 資料6 西東京市子ども子育て審議会専門部会員（案） 資料7 1号認定（幼稚園）の利用者負担額について 資料8 認可保育所等の利用者負担額について 資料9 学童クラブの育成料について 資料10 保育所入所選考基準について 資料11 平成27年度子育て支援部の主な新規事業 西東京市子育て・子育てワイワイプラン 西東京市財政白書 西東京市第4次行財政改革大綱アクションプラン
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
議題1 委嘱式 （傍聴者の入場）	
議題2 報告	

(1) 西東京市子育て・子育てワイワイプランについて
(事務局が、審議会から答申していただいた計画案を基に、財政的な視点から一部文言を追加して、計画を策定した旨を説明。)

(2) 利用者負担について
(事務局が、利用者負担額に関する前回資料を訂正するため、資料3を示した旨を説明。)

(3) 利用定員について
(事務局が、利用定員に関する追加資料として、資料4を示した旨を説明。)

○森田会長：
利用定員については、前回の会議の中で補足の資料を求めたので、今回提出された。今後、市内で新しい施設がつくられていくが、どのように保育が行われるかが重要である。新設の施設について、幼稚園ではどのようなことが行われているか。

○網干委員：
幼稚園は、東京都の認可基準によって設置される。東京都の審査はあるが、市の審査はない。教育の内容について、市の審査はない。

○武田委員：
保育所の設置についても、保育の内容について市の審査があるわけではない。

○吉田委員：
地域の子育て団体の設置については、関連する子育て団体の意見の集約はしているが、審査の会議はない。

○森田会長：
行政の許認可の権限は、基礎自治体に移ってきている。市とのかかわり方や、保育などについて、事業者が集まり、議論することが重要だと思う。

○網干委員：
そういうことであれば、幼稚園の連絡協議会があるので、足並みをそろえるべきことについては月1回程度、議論している。

○武田委員：
保育園でも、足並みをそろえる前段階として園長会を行っており、連絡はとりあっている。

○森田会長：
急増していく施設が、市としての最低ラインのサービスを共有できるように、質の担保についての考え方を伝えてほしい。

○事務局：

新しい施設の設置については、事業者へ保育の内容についてヒアリングすることや、現場の職員へヒアリングをすること等により、質の担保を図っていくよう想定している。保育園の現場職員であった子育て支援員などが、巡回することも考えている。

○森田会長：

市が指導等の機能を果たすことに加え、審議会が機能するよう、専門部会を置く等、職員ではない外部組織の方に見に行っていただく仕組みもあった方がよいだろう。

議題3 審議

- ・利用者負担額及び育成料の見直し並びに保育所入所選考基準の見直しについて
- ・諮問

(事務局が資料1～資料3、資料5・資料6、および席上配布資料1、席上配布資料2に沿って説明)

○森田会長：

諮問された事項については、専門部会で議論を重ねていただくが、前回の専門委員である上田さんに加わっていただき、議論に継続性を持たせてはいかがか。他に、委員の方からご意見はあるか。

(委員承認)

○森田会長：

では、上田さんに連絡していただきたい。

○事務局：

本日は、市の財政の状況について説明したい。付番なしの資料で、財政白書と行財政改革大綱アクションプランをお渡しした。財政白書に記載されているとおり、西東京市の財政は、硬直化している。労働人口が減少し、社会保障が増加しており、合併の特例が平成27年度をもって終了することから、財政のスリム化が検討されている。このことから、アクションプランに記載されているとおり、保育料・育成料の見直しが必要となっている。

(財政白書1ページ(財政の定義・状況)、3ページ(決算の総括)、5ページ(歳入)、9ページ(地方交付税)、11ページ(合併による特例)、15ページ(目的別経費)、17ページ(性質別経費)、18ページ(義務的経費)、23ページ(経常収支比率)、24ページ(性質別経費)、31ページ(財政見通し)、行財政改革大綱アクションプラン1ページ(持続的な自治体経営)、2ページ(受益者負担の見直し)、13ページ・14ページ(保育料の見直し、育成料の見直し)を説明。)

(事務局が、資料7・資料8・資料9・資料10について説明)

○森田会長：

よい保育を行うためには、建物などの環境整備と、人が問題になる。保育の多元化・多様な保育の必要性が求められる中で、適正な保育料を探ることは、難しい。

乳幼児期の子どもは、自分では何もできないので、社会的に投資することが重要な視

点だ。一方で、財源が減り、既存の仕組みを見直さなくては市の持続可能性を探ることができない。このような状況の下で、子どもの環境が悪くならないよう、保護者支援を考えなくてはならない。

また、入所選考基準は、認可保育所に入るためのものだが、入れない方とのバランスを考えなくてはならない。

このように、保育の質・料金、持続可能性、入れている人と入っていない人とのバランスを十分に考慮しながら、適切な計画の遂行ができるよう、議論していただきたい。いろいろな立場の方からの意見が出された上での持続可能性にならなければならない。

実質的な議論に入る前に、資料として提出を求めたいものはあるか。

○吉田委員：

資料には入所選考基準についての要望が書かれているが、要望を内容ごとに分類してまとめた資料をいただけると、何が課題なのかが明らかになると思う。

○加藤委員：

以前、入所選考基準の議論をしたとき、保連協から要望のあった、兄弟で園が離れないように加点することについては、データがないと議論できないということで持ち越しになっている。子どもが1人なのか、2人いるのか、園に入っていてバラバラになっている例がどのくらいあるのかを、資料として示していただきたい。

○網干委員：

幼稚園の保育料と保育園の保育料の比較だけではなく、預かり保育の料金も含めて、資料をつくっていただきたい。幼稚園が企業努力で対応しているのは、先生の賃金や、預かり保育や2歳児クラスといった新しい事業に負担がいつているのが現状なので、そういったところも踏まえていただきたい。

○加藤委員：

保育料や育成料については、他市より低位だから上げる、高位だから下げる、といったように順位で決めるものではないと思う。この料金では、このような事を行っているといったことがわかる資料があるとよいと思う。

○森田会長：

34ページ経営戦略の評価指標の選択的・非市場的なものとして保育所が挙げられているが、新制度後もこのカテゴリなのかは疑問だ。公共学童・保育所保育は、どういう部分で、どう担うのかを議論しないと、料金体系についての議論も難しいのではないか。

また、利用者の声は拾っても、利用していない人の声を拾うのが難しい。今後の議論によっては、子育て支援団体の代表である吉田さんに、利用していない人の声を聴いていただくよう、お願いするかもしれないので、その際にはご協力いただきたい。

では、今後、専門部会で、ある程度意見をまとめてから、本会に出していただく。

議題4 その他

- 1 今年度の子育て支援部の事業取組について
- 2 次回の会議日程について

(事務局が、資料11と次回会議予定について説明)

○森田会長：

次回の会議は、専門部会で5月18日夜間に開催予定とのことである。部会員の方々には、参加いただくようお願いしたい。以上にて、本日は閉会とする。

(閉会)

以上